

庵唄のふるさと

# 江戸芸能の風景 ②

邦楽ドラマ — 虚空遍歴 (山本周五郎) より

## 松廼家おけい

城端が誇るユネスコ無形文化遺産・城端曳山祭。

そこで唄われる「庵唄」は江戸端唄がルーツと言われています。

昨年、江戸吉原の座敷を彷彿とさせた端唄芝居「紺屋高尾」で

大好評を博したじょうはな座。今年は端唄をテーマとした芸道物語、

山本周五郎の名作から「松廼家おけい」をお届けします。

名女優・山本陽子が語り演ずる舞台上、

作曲と演奏を務める端唄の名手・本條秀太郎の競演。

芸に生き恋に生きた人間ドラマをお楽しみください。



山本陽子



今村祥佳



岡本瑞恵



磯西真喜



演奏  
本條秀太郎

語	音	美	脚	原	演
り	楽	術	本	作	出
◆	◆	◆	◆	◆	◆
本山可久子	本條秀太郎	松野潤	堀越真	山本周五郎	大間知靖子



朝倉摂・画

2019年 3月9日[土] 14:00開演 13:30開場

南砺市城端伝統芸能会館 じょうはな座

### チケット

前売3,500円(当日4,000円)全席指定(税込)

### 発売日

jointo会員先行発売 / 2018年11月4日(日)

Jointo 会員特典 10%OFF

一般発売 / 2018年11月11日(日)

主催 ● 一般社団法人じょうはな伝統芸能・文化を護る会  
 後援 ● 北日本新聞社・となみ衛星通信テレビ  
 協力 ● 公益財団法人 新日鉄住金文化財団(紀尾井ホール)  
 制作 ● 古典空間

### プレイガイド

先行発売 / じょうはな座(火曜・年末年始休)  
 一般発売 / じょうはな座・福野文化創造センター・井波総合文化センター  
 福光福祉会館・砺波市文化会館・アーツナビ(<http://www.arts-navi.com/>)  
 富山県民会館・富山県教育文化会館・新川文化ホール・高岡文化ホール  
 の窓口でもお求めいただけます)

※出演者・曲目・演奏順は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。  
 ※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。  
 ※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。  
 ※演奏中のご入場はご遠慮いただいております。

■ お問合せ / 南砺市城端伝統芸能会館 「じょうはな座」

〒939-1865 富山県南砺市城端 1046  
TEL.0763-62-5050 (毎週火曜日休館)

庵唄のふるさと

# 江戸芸能の風景②

邦楽ドラマ — 虚空遍歴(山本周五郎)より

## 松廼家おけい

その昔、城端の絹織物商人たちが出逢った江戸文化。芝居、文学、絵画、そして音楽：爛熟期を迎えていた町人文化は、城端の人々にも大きな影響をもたらしました。特に「江戸端唄」は、城端曳山祭で唄われる「庵唄」の中にその関係を色濃く残しており、ユネスコ無形文化遺産に登録され改めてその価値が大きくクローズアップされています。今回お届けするのはその端唄をテーマとした芸道物語：邦楽ドラマ『松廼家おけい』。山本周五郎の名作を端唄の名手・本條秀太郎の生演奏と名女優たちのドラマリーディング。二〇〇九年に初演され、各方面より高い評価を得ている東京の紀尾井ホール企画・制作のオリジナル作品を、じょうはな座で上演します。

端唄で一世を風靡した主人公中藤沖也は、

江戸で得た名声に飽きたらず、

自分自身の音楽を追い求め、家族も捨てて上方へ流れる。

沖也の芸に強く惹かれていたおけいは密かに沖也の後を追う。

望みを託した加賀・山中温泉での演奏会も、

大勢の聴衆を前に、沖也は納得がいかない。

舞台の途中で降りて姿を消した沖也は：

道半ばにして沖也は越前・今庄の宿にて倒れる。

死の床に集まった四人の女たち。

沖也の芸に対する胸の内を明かすおけい。

静かに夫の音楽家としてのの人生を振り返る妻お京。

生い立ちを語る乳母のお幸。

最後に近づく沖也の思い出を語る宿の女中おなつ。

はたして沖也が求めた至高の音楽とは何だったのか。

演出 ● 大間知靖子  
原作 ● 山本周五郎  
脚本 ● 堀越真  
音楽 ● 本條秀太郎  
演奏 ● 本條秀太郎ほか  
美術 ● 松野潤  
照明 ● 桐山詠二  
音響 ● 小原誠  
演出助手 ● 後藤彩乃  
舞台監督 ● 北条孝

### 山本陽子 (やまもと ようこ)

東京生まれ。映画「拳銃の歌」で高橋英樹の相手役に抜擢、その後日本近くの日活映画に出演。日活退社後は映画からテレビ、舞台へと活動の場を広げ現在に至る。近年は洋画の吹き替えやナレーション、朗読劇などにも挑戦中。一九九四年菊田一夫演劇賞を受賞。二〇〇六年度名古屋演劇ペンクラブ賞を受賞。二〇〇九年山本海苔店との専属CMモデル契約(四二年間)がギネス世界記録に認定、現在も継続され五年目に入る。

### 本條秀太郎 (ほんじょう ひでたろう)

茨城県生まれ。三味線演奏家、作曲家。桐朋学園芸術短期大学招聘教授歴任。一九七一年に本條流を創流し、古典・民族音楽を土台とし現代に伝統音楽として生まれた楽派「俚奏楽」を発表。端唄・民謡・民俗芸能の発掘、採譜、CDの発表など国内外で音楽活動を続けている。二〇〇四年第五回文化庁芸術選奨文部科学大臣賞を受賞、二〇〇七年紫綬褒章を受賞。

### 磯西真喜 (いそにし まき)

東京生まれ。一九八三年円演劇研究所入所、八六年に演劇集団円の会員となる。主な舞台に『抱擁ワルツ』『十二夜』『県人会寮榎荘物語』『母』『赤い階段の家』『マルタ島のユダヤ人』『美サイド・ハーセルフ』『インナーチャイルド』『小さなエイヨルフ』『美しきもの伝説』『なよたけ』『アトリエ』『Life x 3 (ライフ・タイムス・スリー)』『北越誌』ほか、テレビ、アテレコ多数。

### 岡本瑞恵 (おかもと みず恵)

佐賀県生まれ。劇団NLT、劇団浪漫劇場を経て、一九七八年演劇集団円に入団。主な舞台に『鹿鳴館』『斑女』『授業』『瀕死の王様』『門』『イェルマ』『あきくさばなし』『天つごもり』『雨空』『マグノリアの花たち』『ベリクリーズ』『実験』『宙をつかむ』ほか。

### 今村祥佳 (いまむら よしか)

福岡県生まれ。二〇二二年円演劇研究所入所、二〇二四年演劇集団円会員昇格。主な舞台は『わが町』『紅柄谷の子守唄』『どんとどん』『un』。

昨年好評に心え第2回目!

## じょうはな座の勉強会

### 「江戸端唄を学ぶ」②

庵唄の源流を知る：演奏とお話

体験・唄ってみよう江戸端唄

ゲスト：本條秀太郎  
日時：2018年12月15日(土)  
18:30より  
会場：城端別院 善徳寺 北の書院  
入場無料  
定員：50名(先着順)  
お問合せ：090-2372-6473(山口)  
主催：じょうはな座

